

洗足学園の平成

-学校改革30年-

2019年8月4日
洗足学園中学高等学校
教頭 田中 友樹



1. 学校紹介

洗足学園中学高等学校

- 神奈川県川崎市にある中高一貫私立女子校
- 各学年6クラス（高校音楽科は2013年に廃止）
- 全校生徒は約1500名
- 帰国生は各学年30名前後
- 最寄り駅は溝の口駅（JR・東急・バス）
- 新興住宅地の多いエリア
- 系列は幼稚園・小学校・音楽大学
- 学園はまもなく創立100周年
- 「謙愛の精神」 「社会に有為な女性の育成」



Topic

- 学校改革Ⅰ期（1989-1998）学校が潰れる!? 偏差値35.2からの挑戦
- 学校改革Ⅱ期（1999-2008）文理の壁を壊せ！ 総合力育成への挑戦
- 学校改革Ⅲ期（2009-2018）「6つの洗足」から「1つの洗足」へ
- 洗足学園の「令和」



2. 学校改革第 I 期

1989-1998

1989年の状況



- 中学入試（2回実施）出願者数 のべ395名
- 中学入試難易度 推定偏差値35.2
- 高校からも生徒を募集
- 授業より部活
- 合計特殊出生率 1.57
- 4年制大学進学者数不明

※1993年卒業生実績（卒業生数266）

国公立0 早慶上理0 MARCH7 その他私大46

「このままでは学校がなくなる!?!」

- 中学生徒募集活動の本格的始動
 - 1994年帰国生入試スタート
 - 1995年からは高校入試を廃止し、中高一貫校へ
- 「英語」と「音楽」
 - 短大の英文科からネイティブを招く
 - 「プロGRESS」を発注するも「やめなはれ」・・・
 - 大学が運営する音楽教室のPR
- 短大・専門学校・就職から4年制大学進学へ
 - 特進クラスの設置 サテライト授業の導入
 - 外部講師・大学関係者による進路ガイダンス
 - 基本は一本釣り（柱の陰での進路指導）から勉強合宿への流れ
- 1994年奉職
 - 「お前は最近受験したんだから指導できるだろ」
 - 「俺が夢を語るから、あとはなんとかしろ」

1998年 高3 私文担任



- 学年全体に大学受験を促した時期
- 国立文系 1 クラス、私立文系 4 クラス、理系 1 クラス編成
- 初めての進路面談は「大学へ行こうよ」
- その年の国公立合格実績は 7 名
- 1997年の青山学院21名の自信か、早慶上智のべ10名合格
- 私文クラスからは初の法政大合格
- 中学入試が 3 回実施へ

第 I 期のふりかえり

- 進路実績の向上と中学入試改革がセットで進行
- やればやっただけ合格実績があがった時代
- 期待で受験生が集められた時代
- 「おトクな学校」



3. 学校改革第Ⅱ期

1999-2008

1999年 高2国文担任
2000年 高3国文担任

- 2000年 新校舎完成
- 教員の入替わりが激化
- 学年の中に漂う「次は東大へ」、クラスから2名が挑戦
- 学年の国公立受験者は大幅に増加するも合格は8名のみ
- 流行語「キャパ」

2001年 高2 国文担任

2002年 高3 国文担任

- 2001年 洗足初の東大合格
- 2002年 前田隆芳校長就任「総合的学力の育成」宣言
- 2002年 洗足初の東大前期合格、国公立は13名
一方、慶應は前年18から5へ激減
- 中学入試は順調に志願者を集め、2科・4科の選択へ

現場の迷いと2003年の挑戦

- 「国公立路線」は生徒を幸せにしているのか？
- 難関私大にもそれほど受かっていないのに・・・
- せっかく伸びてきたのに大丈夫？
- 地方の国立大を受けてくれない・・・
- そもそも文系は国公立大を志願してくれない・・・

まさかの人事と、「学年主任はそれぞれ自分が校長だと思って・・・」

①学年団の目線合わせ

どのような生徒を育てるのか？
そのためには、何が大切なのか？

- 「なりたい自分のイメージをもつ」
- 「自分を律する」
- 「自分を見限らない」
- 「持続の大切さを知る」
- 「社会の中の自分という視点をもつ」
- 「自己実現を可能にする学力を身につける」
- 「考えることを楽しむ」
- 「コミュニケーション能力を磨く」

「達成感」 「感動体験」 「自己肯定感」 「あそび心」

②中2以降の総合学習再構築

中1 国際理解（英語で遊ぼう）
中2 ボランティア
中3 自国理解・研究論文
高校 ？



中2 国際理解2（英語で話そう）
中3 国際理解3（平和学習）・研究論文
高1 HR研修（2泊3日のキャリア教育）
学外チャレンジの奨励
高2 自国理解・Ex-Vision 2020年への提言

③高校カリキュラム変更

- 高2 私立コース撤廃
- 文系の生徒の選択科目を全員数学へ
- 高2 総合学習 1コマ増
- 高2 進学講習・勉強合宿に「総合コース」導入
文系も理系もいっしょに英語・数学・国語の学習
- 高3 国立文系コースは2クラスへ

第Ⅱ期のふりかえり

- 学年主導型
- 6年間の指導目標と内容の再構築
- アレンジされながらも踏襲されていった6年
- ある一定の成果があがったことにより学校に定着

2008年度卒業生

国公立合計57（東大4 京大1 東工大2 一橋1）

早慶上理133 MARCH183



4. 学校改革第三期

2009-2018

2009年4月

- ▶ 1つの学校を目指して組織改革に着手

学校が動き出そうとしたそのとき、
首都圏初の新型インフルエンザ発覚・・・



2010年に向けた組織改編

- 7分掌を3分掌体制へ

総務部（入試広報）はそのまま

教務・進路・図書 ⇒ 学力形成部

生徒・行事・厚生 ⇒ 人間形成部

説明会でのメッセージが安定

- ▶ 学力形成と人間形成は車の両輪
- ▶ 教育の3本柱
- ▶ 学力形成と大学入試
- ▶ 6年間5教科必修カリキュラム
- ▶ 他流試合から海外大志願へ
- ▶ 海外大と国公立の併願モデル

教育の3本柱

授業

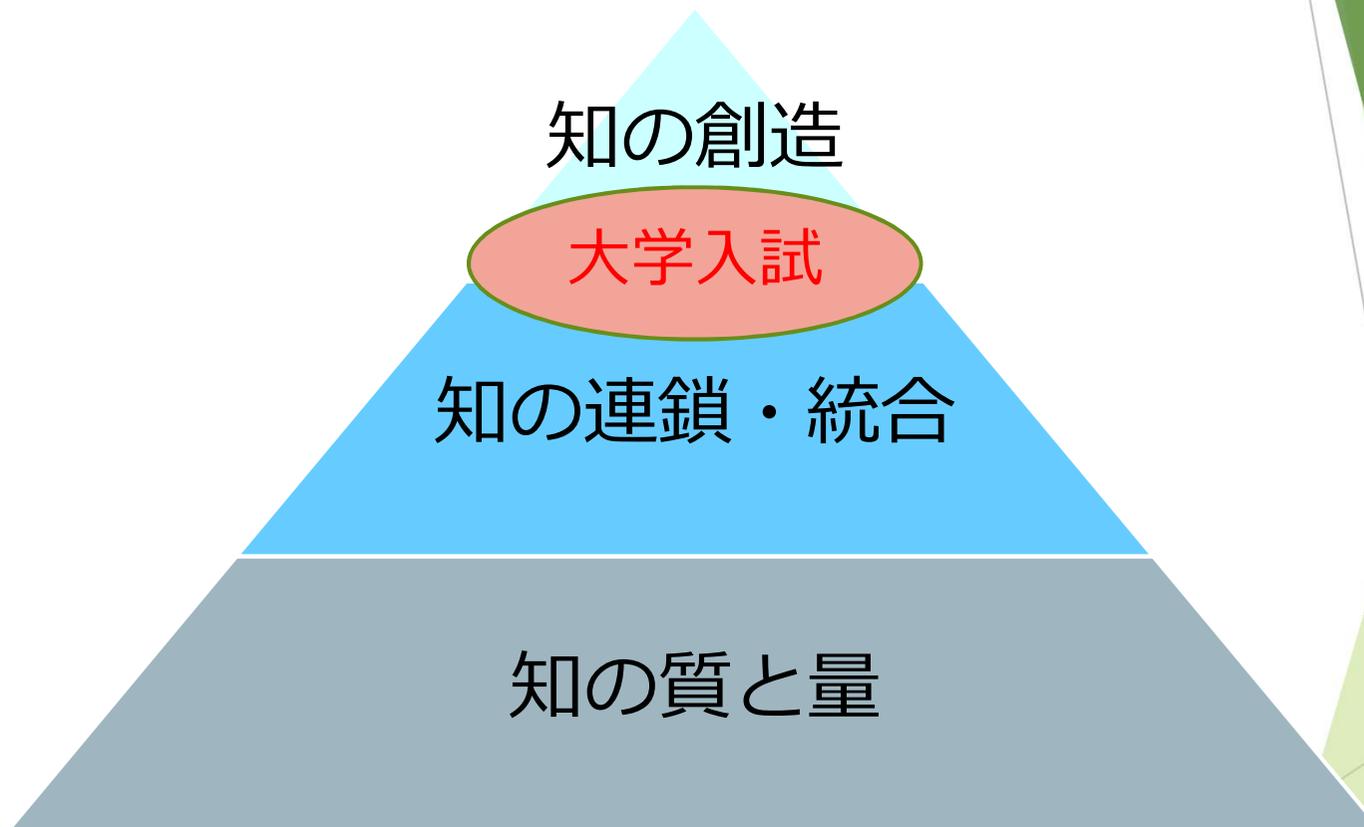
主体的行動ができる女性（自立）
グローバル社会で活躍できる女性（挑戦）
社会に貢献できる女性（奉仕）

自治活動

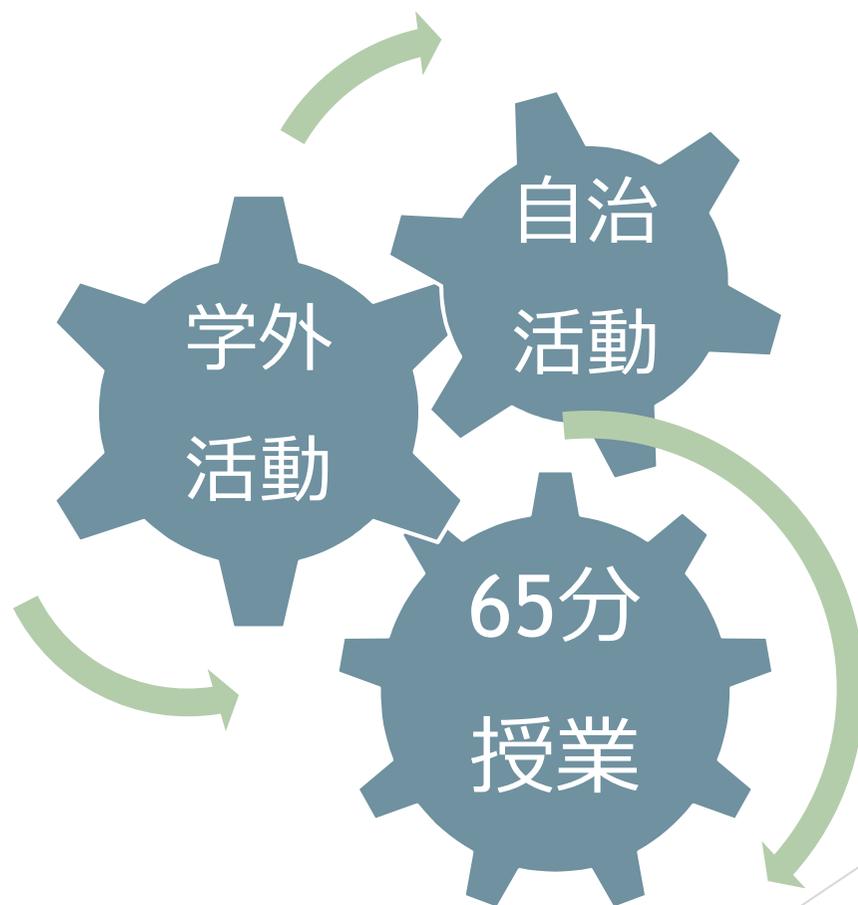


学外活動

洗足学園の学力形成



教育イノベーション2015 ～あえて授業週5日制へ回帰～





5. 洗足学園の令和

2019年度新システム



- 65分授業の継続
- 土曜日に3時間目まで授業を実施
- 中1から高2に新カリ導入（教科横断的学習の時間増）
- 日課表・長期休暇期間の変更なし
- 2020年度以降は全学年に新カリキュラム導入

今後の課題

- 次の進路目標の設定と共有
- 授業改革
- 変わりゆく保護者への対応
- 変りゆく教員への指導と対応
- 働き方改革への対応

～「学校とは何か？」 「教員の仕事は何か？」

終

ご清聴ありがとうございました。
お近くにお越しの際は、どうぞ見学してってください。